



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年2月6日

上場会社名 株式会社リンコーコーポレーション 上場取引所 東
コード番号 9355 URL <https://www.rinko.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 本間 常徳
問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 前山 英人 TEL 025-245-4112
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	10,487	2.3	417	8.5	560	6.4	628	40.1
2025年3月期第3四半期	10,256	2.9	384	115.8	526	67.6	448	13.2

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 1,013百万円 (261.7%) 2025年3月期第3四半期 280百万円 (△81.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	241.34	—
2025年3月期第3四半期	174.85	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第3四半期	40,076	18,940	47.3	7,235.01
2025年3月期	38,500	17,981	46.7	6,946.41

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 18,940百万円 2025年3月期 17,981百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	—	—	40.00	40.00
2026年3月期	—	—	—		
2026年3月期（予想）				45.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,500	△0.3	390	△17.7	460	△25.4	590	12.0	229.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期3Q	2,700,000株	2025年3月期	2,700,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	82,056株	2025年3月期	111,353株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期3Q	2,603,476株	2025年3月期3Q	2,564,829株

(注) 当社は、株式給付信託（従業員持株会処分型）を導入しており、期末自己株式数には、株式会社日本カस्टディ銀行（信託E口）が保有する当社株式が含まれております。また、株式会社日本カस्टディ銀行（信託E口）が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

2025年4月1日から12月31日までの9ヶ月間（以下、当第3四半期）におけるわが国経済は、企業の設備投資や雇用・所得環境の改善等により、緩やかな回復基調が見られました。一方で、物価の高止まりや為替の変動、さらに日銀の利上げに加えて、不安定な国際情勢が続き、先行きは依然として不透明な状況にあります。

このような状況の下、当社企業グループは、主力の運輸部門は、貨物取扱量が増加し前年同四半期比で増収増益となり、ホテル事業部門は、設備投資の増加の影響等から前年同四半期比で増収減益となりました。

この結果、当第3四半期の当社企業グループの売上高は104億8千7百万円（前年同四半期比2.3%の増収）、営業利益は4億1千7百万円（前年同四半期比8.5%の増益）、経常利益は5億6千万円（前年同四半期比6.4%の増益）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、特別利益として投資有価証券売却益2億4千6百万円を計上した結果、6億2千8百万円（前年同四半期比40.1%の増益）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

（運輸部門）

当社企業グループの事業拠点である新潟港の貨物取扱量が前年同四半期比で増加した中、主力である運輸部門の貨物取扱数量も一般貨物、コンテナ貨物共に前年同四半期比で増加し、411万2千トン（前年同四半期比3.6%の増加）となりました。

一般貨物は既存の主要貨物が堅調に推移したほか、昨年度より取扱いを開始した新規貨物も概ね順調に推移しました。また、コンテナ貨物は輸出コンテナ本数が増加し、それぞれ増収に寄与しました。利益面では、物価高や人件費増加などの影響の他、設備投資に伴い減価償却費が増加しましたが、作業効率向上に努め利益を確保しました。同セグメントの売上高は76億4百万円（前年同四半期比1.5%の増収）、利益は1億4千万円（前年同四半期比49.8%の増益）となりました。

（不動産部門）

不動産賃貸は賃貸契約の増加などにより堅調に推移しましたが、商品土地の販売がなく、同セグメントの売上高は2億4百万円（前年同四半期比4.8%の減収）、利益は1億2百万円（前年同四半期比5.1%の増益）となりました。

（ホテル事業部門）

宿泊部門は、今年4月に完了した中高層階の客室改装工事がその期間中の客室の稼働に影響を及ぼしたものの、その後は堅調に推移しました。また、宴会、レストラン部門も順調に推移した結果、同セグメントの売上高は18億7千8百万円（前年同四半期比3.2%の増収）となりました。一方、経費面では客室改装工事に伴い減価償却費などが増加した結果、利益は1億1千4百万円（前年同四半期比13.3%の減益）となりました。

（関連事業部門）

機械整備業が部品の販売を中心に取扱が増加したほか、商品販売業、保険代理店業などが堅調に推移した結果、同セグメントの売上高は8億4千1百万円（前年同四半期比9.5%の増収）、利益は7千2百万円（前年同四半期比12.8%の増益）となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の資産の部は、前連結会計年度末と比べて15億7千6百万円増加し、400億7千6百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金、受取手形、営業未収入金及び契約資産、電子記録債権の増加などにより流動資産が8億3千6百万円増加したことに加え、設備投資による有形固定資産の増加1億3千3百万円、時価上昇の影響などによる投資有価証券の増加6億1千9百万円などにより、固定資産が7億4千2百万円増加したことによるものであります。

負債の部は、前連結会計年度末と比べて6億1千7百万円増加し、211億3千6百万円となりました。この主な要因は、電子記録債務、繰延税金負債の増加などによるものであります。

純資産の部は、前連結会計年度末に比べて9億5千9百万円増加し、189億4千万円となりました。この主な要因は、利益剰余金の増加5億2千万円、その他有価証券評価差額金の増加4億1千5百万円などによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間において、各段階利益が2025年5月14日公表の通期の連結業績予想値を上回っておりますが、第4四半期における降雪などの荒天の影響や事業環境の推移を踏まえ慎重に検討した結果、現時点では、当該予想値の修正はございません。今後の業況を注視し、見直しが必要と判断される場合は、速やかに開示いたします。

なお、当社は、当社企業グループのパーパス（会社の存在意義）として掲げた「みなと から今を支え、明日を拓く。」のもと、2023年度において中期経営計画（2024年度から2026年度の3年間）を策定しております。2026年3月期は同計画の2年目にあたりますが、重点課題である「運輸部門の収益基盤の安定と向上」、「自社資産・人材の強みを活かし収益性・効率性を向上」、「事業継続可能な人的資本戦略の実施」に真摯に取り組み、同計画の目標達成を目指して参ります。

（注）当該予測は現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は予想と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	381,363	1,071,514
受取手形、営業未収入金及び契約資産	2,569,609	2,625,142
電子記録債権	274,306	410,877
棚卸資産	195,506	169,615
その他	218,458	197,885
貸倒引当金	△3,924	△3,530
流動資産合計	3,635,319	4,471,504
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	21,105,038	21,399,536
減価償却累計額	△15,392,204	△15,596,809
建物及び構築物（純額）	5,712,834	5,802,727
機械装置及び運搬具	1,898,280	2,019,712
減価償却累計額	△1,651,671	△1,656,724
機械装置及び運搬具（純額）	246,609	362,987
土地	21,940,621	21,940,881
リース資産	624,090	679,808
減価償却累計額	△252,795	△266,395
リース資産（純額）	371,295	413,413
建設仮勘定	300,109	330
その他	1,067,229	1,235,340
減価償却累計額	△952,073	△935,858
その他（純額）	115,155	299,482
有形固定資産合計	28,686,626	28,819,822
無形固定資産		
リース資産	33,197	28,190
その他	20,126	23,072
無形固定資産合計	53,323	51,262
投資その他の資産		
投資有価証券	5,667,692	6,287,666
繰延税金資産	148,811	140,835
その他	341,826	340,909
貸倒引当金	△40,533	△40,533
投資その他の資産合計	6,117,797	6,728,878
固定資産合計	34,857,747	35,599,963
繰延資産		
社債発行費	7,443	5,477
繰延資産合計	7,443	5,477
資産合計	38,500,510	40,076,945

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	1,429,189	1,501,611
電子記録債務	126,908	352,222
短期借入金	1,700,000	1,300,000
1年内償還予定の社債	280,000	280,000
1年内返済予定の長期借入金	2,575,658	2,678,254
リース債務	132,924	144,306
未払法人税等	88,645	40,692
賞与引当金	278,385	160,873
その他	698,439	809,985
流動負債合計	7,310,150	7,267,946
固定負債		
社債	610,000	380,000
長期借入金	3,965,301	4,527,053
リース債務	308,338	327,042
繰延税金負債	2,396,949	2,638,304
再評価に係る繰延税金負債	4,749,284	4,749,284
退職給付に係る負債	718,163	786,115
資産除去債務	317,544	319,155
その他	142,972	141,191
固定負債合計	13,208,555	13,868,147
負債合計	20,518,705	21,136,093
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,950,000	1,950,000
資本剰余金	809,241	809,241
利益剰余金	3,262,276	3,782,685
自己株式	△204,238	△151,211
株主資本合計	5,817,279	6,390,714
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,585,242	3,000,637
土地再評価差額金	9,156,175	9,156,175
退職給付に係る調整累計額	423,106	393,323
その他の包括利益累計額合計	12,164,524	12,550,136
純資産合計	17,981,804	18,940,851
負債純資産合計	38,500,510	40,076,945

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	10,256,961	10,487,747
売上原価	8,900,889	9,050,864
売上総利益	1,356,071	1,436,882
販売費及び一般管理費	971,253	1,019,345
営業利益	384,818	417,537
営業外収益		
受取利息	205	715
受取配当金	188,756	216,437
雑収入	20,671	13,539
営業外収益合計	209,633	230,692
営業外費用		
支払利息	59,192	79,366
雑支出	9,120	8,801
営業外費用合計	68,312	88,168
経常利益	526,138	560,061
特別利益		
固定資産売却益	19,654	15,235
投資有価証券売却益	78,030	246,145
特別利益合計	97,684	261,380
特別損失		
固定資産処分損	32,210	59,059
特別損失合計	32,210	59,059
税金等調整前四半期純利益	591,612	762,383
法人税、住民税及び事業税	90,739	97,723
法人税等調整額	52,407	36,350
法人税等合計	143,146	134,073
四半期純利益	448,466	628,310
親会社株主に帰属する四半期純利益	448,466	628,310

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	448,466	628,310
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△140,786	415,395
退職給付に係る調整額	△27,395	△29,783
その他の包括利益合計	△168,181	385,611
四半期包括利益	280,284	1,013,921
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	280,284	1,013,921

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結財務諸表計上額 (注) 2
	運輸部門	不動産部門	ホテル事業 部門	関連事業部門			
売上高							
運輸事業	6,899,332	—	—	—	6,899,332	—	6,899,332
不動産業	—	14,017	—	—	14,017	—	14,017
機械整備販売業	—	—	—	456,089	456,089	—	456,089
ホテル業	—	—	1,820,509	—	1,820,509	—	1,820,509
その他附帯事業	527,056	—	—	278,113	805,170	—	805,170
その他	34,047	—	—	34,499	68,547	—	68,547
顧客との契約から生じる収益	7,460,436	14,017	1,820,509	768,702	10,063,666	—	10,063,666
その他の収益	33,479	195,150	—	—	228,630	—	228,630
外部顧客への売上高	7,493,916	209,168	1,812,823	741,053	10,256,961	—	10,256,961
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,120	5,350	7,686	27,649	41,807	△41,807	—
計	7,495,037	214,518	1,820,509	768,702	10,298,768	△41,807	10,256,961
セグメント利益	93,753	97,477	131,881	64,731	387,844	△3,026	384,818

(注) 1. セグメント利益の調整額△3,026千円は、その他の調整額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結財務諸表計上額 (注) 2
	運輸部門	不動産部門	ホテル事業部門	関連事業部門			
売上高							
運輸事業	7,023,474	—	—	—	7,023,474	—	7,023,474
不動産業	—	975	—	—	975	—	975
機械整備販売業	—	—	—	486,794	486,794	—	486,794
ホテル業	—	—	1,872,382	—	1,872,382	—	1,872,382
その他附帯事業	509,098	—	—	285,305	794,403	—	794,403
その他	34,840	—	—	42,706	77,546	—	77,546
顧客との契約から生じる収益	7,567,412	975	1,872,382	814,806	10,255,577	—	10,255,577
その他の収益	34,357	197,812	—	—	232,169	—	232,169
外部顧客への売上高	7,601,770	198,787	1,872,382	814,806	10,487,747	—	10,487,747
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,010	5,350	6,527	26,543	41,432	△41,432	—
計	7,604,781	204,138	1,878,910	841,349	10,529,179	△41,432	10,487,747
セグメント利益	140,453	102,491	114,285	72,988	430,218	△12,681	417,537

(注) 1. セグメント利益の調整額△12,681千円は、その他の調整額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	541,006千円	604,393千円